

びろうじま

☆ わたしたちの思いを語る会No.2

1月17日(土)に、門川町総合文化会館で『わたしたちの思いを語る会』が開催されました。「びろうじま第10号」の個人の部に続いて今回は、グループの部を紹介いたします。グループの部では、スクリーンに画像を映しながら発表を行いました。

いじめ防止の取組について

6年 田端桜、児玉唯珠、小林隼人

私たち門川小学校は、この門川町総合文化会館から少し北に行ったところにあります。全校児童376名の学校です。学校全体を見ると、とても元気のいい友達がいっぱい。時には、元気がよすぎて、言葉が乱暴になったり、喧嘩が起こったり、廊下を走ったり…等ということが結構あります。

今回のテーマである「いじめ」についても、身近に起こりえます。例えば、周りの人から避けられたり、はぶかれたりです。いじめは絶対にしてはいけないことです。しかし、私自身も、そのいじめられている子を誘いにくくなります。いけないことですが、自分も嫌な目にあう気がするからです。

このように、いじめは、いじめる人といじめられる人だけの問題ではなく、私たち全体の問題です。今日は、私たちがいじめについて学んだことや、学校全体での取組について発表をします。

4月、私たちは、学級と建物と同じだという学習をしました。現代の新しい建物も、大昔の古い建物も、土台から造り、土台がしっかりとしていないと、高い建物はできません。それと学級は同じだという内容でした。

では、皆さんは、学級の土台とは何だと思いますか。

私たちの学級では、それは、「いじめが無い学級」であると考えました。いじめがないから安心して過ごせるという理由です。

次に、いじめについて学ぶために、一冊の絵本を皆で読みました。松谷みよこさんの、「わたしのいもうと」です。このお話は、転校生であるわたしの妹が、いじめられ、学校に行けなくなり、最後には亡くなってしまおうという悲しいお話です。反対に、いじめた子どもたちは、いじめのことなど忘れて、楽しく過ごし、成長していく様子も描かれています。私は、このお話をすごく怖いと思いました。いじめた子どもたちは、すっかり忘れてるのに、いじめられた子は、心の傷になってしまったからです。

では、こうしたいじめを無くすために、何が大切でしょうか。そのヒントとなる絵本も授業で学習しました。それは、「わたしのせいじゃない～責任について～」という絵本です。この絵本の中で、いじめを知っている子の多くが、私のせいじゃないとか、僕には関係ないとか言っていました。いじめの加害者だけでなく、いじめを見ている人、周りにいる人がちゃんと考えることが大切だと思います。

これは、いじめに関わる人たちの図です。この中で、周りの人たちは、何ができるでしょうか。授業で三つのことについて学びました。一つ目が、誰かに伝えるということです。お家の人、先生、友達等、誰かに伝えることが大切だと思います。二つ目が、応援するということです。いじめられている人のそばにいてあげる、話を聞いてあげるだけでも、いじめられる子を助けられると思います。三つ目は、助けるということです。やめるように言えばいいのですが、言えない時もあると思います。そんな時は、その場から一緒に離れるようにすることも大切だと思います。

さて、私たちは学年で決まり事をつくりました。それは、遊び三原則です。いじめの多くが「遊んでいただけ。」「ふざけていただけ。」と言われることが多いです。そこで、遊びとは何かを考えました。一つ目が、あそんでいい「時」にするものが遊びだということです。二つ目は、遊んでいい「場所」ですもの遊びだということです。三つ目が「自分も相手も楽しいもの」が、遊びだということです。実際には、この三つが守られていないこともあります。これがいじめを無くしていくために大切な考え方だと思います。

次に、学校全体の取組を紹介します。一つ目は、「ふわふわ言葉」です。運営・集会委員会の取組で、「ちくちく言葉」を使わずに、皆で「ふわふわ言葉」を使おうと全校に呼びかけたものでした。各学級で、言われたら嫌な気持ちになる「ちくちく言葉」、言われたら嬉しくなる「ふわふわ言葉」を考える取組をしました。たくさんの方が「ちくちく言葉」を使わないように気を付け、使ってしまった時にはお互いに声を掛け合うようにしました。反省点は、時間が経ったら意識が低くなったような気がしたことです。時々呼びかける必要があったと

思います。「ちくちく言葉」をやめて、「ふわふわ言葉」を使うのは、いじめを行わないことにつながると思います。

二つ目は、生活委員会の「あいさつ運動」と「ありがとう通信」の活動です。生活委員会は、朝、学校の正門であいさつ運動を行っています。また、生活委員会の呼びかけに応え、あいさつ運動に参加してくれる人たちもいます。また、学校運営協議会の取組として、「親子であいさつ登校」も行っています。あいさつをすると、気持ちの良い朝を迎えられます。それは、いじめを行わないために大切なことだと考えます。ありがとう通信とは、誰か親切にしてくれて、嬉しかったこと等をありがとう通信に書いて相手に渡します。それをいくつかお昼の放送で紹介し、皆、それを聞くと、心が温かくなります。これもいじめを無くすためにやっている活動です。

三つ目は、体育委員会の「みんなで遊ぼう」です。体育委員会は、全校児童に「皆で長縄をしよう。」とか、「増えオニをしよう。」と呼びかけていました。とても楽しく盛り上がりました。これもいじめが起こらなくするために大切なことだと思います。

このように、いじめのない、悪口を言われたりたたかれたり、仲間外れにされたりすることがない学校を、私たちは目指しています。上手にいかないことも多いですが、各委員会や学級の取組が『いじめゼロ』につながっていくように、これからも頑張っていきます。

これで、私たちの発表を終わります。

☆ 令和7年度 善行児童の表彰



【教育委員会賞】



【学校賞】

門川町では、子どもたちの模範となる素晴らしい行いをした児童生徒を表彰することで、全ての子どもに対する教育的効果を高め、門川町の教育基本方針である「明日の門川を担う優れた人材の育成」の具現化を図っています。

○ 「教育委員会賞」

… 他の児童生徒の模範となり、町全体に大きな教育的効果をもたらす行いをした者

6年 田端 桜さん

○ 「学校賞」

… 他の児童生徒の模範となり、学校全体に大きな教育的効果をもたらす行いをした者

1年 堀川 心暖さん 2年 宮田 陽向さん
3年 小園 和真さん 4年 川野 琴音さん
5年 小野 千尋さん 6年 樋口 駈さん

上記の7人の子どもたちは、ボランティア活動や地域貢献、文武両道など、模範的な生活態度や学習態度でした。受賞、おめでとうございます。

3月の主な行事予定

- 4日(水) 子ども見守りネットワークへのお礼の会
- 12日(木) ノーメディア読書デー
- 17日(火) 卒業式予行練習[5・6年生]
- 19日(木) 図書一斉返却日
- 24日(火) 卒業式前日準備[4・5年生]
- 25日(水) 卒業式[5・6年生]
※ 1～4年生は、お休みです。
- 26日(木) 修了式、大掃除
- 27日(金) 離任式